

令和 8 年 6 月定例市議会 市長行政報告

皆さん、おはようございます。

6 月定例市議会の開会にあたり、一言御挨拶を申し上げます。

議員の皆様におかれましては、御多忙の折にもかかわらず御参集をいただき、厚くお礼を申し上げます。

議案等の説明に先立ちまして、行政報告をさせていただきます。

はじめに、今回の台風 6 号に伴う被害状況並びにこれまでの対応についてであります。

本市管内では、新たな防災気象情報における【レベル 2】大雨注意報と、強風波浪注意報が発表されました。

被害の状況であります。6 月 11 日現在、人的被害はないものの、軽微なものも含めて、家屋に関する損傷などの報告が 22 件、倒木が 61 件、その他の被害が 23 件ありました。

今回、倒木に関する被害や相談が多く寄せられており、その他の被害とともに、状況の取りまとめ、確認を進めているところであります。

なお、災害対策本部・避難所の開設はありませんでした。

今後も予想される地震や台風などの災害に備え、引き続き防災体制の整備に鋭意努めて参ります。

次に、公共施設のネーミングライツについてであります。

玉野市では、新たな財源確保はもとより、施設の魅力向上と利用の拡大を図ることを目的に、保有する施設等へのネーミングライツを積極的に導入しております。

この取組の一環として、株式会社三井 E & S とネーミングライツパートナーの契約を締結する運びとなり、3 月 24 日に調印式を行いました。

これにより、玉野市総合体育館は新たに「三井 E & S レクレセンター」という愛称で親しまれることになり、新たな看板も掲げられております。

本市では、令和6年度から玉野市民総合運動公園野球場を「日比製煉スタジアム」、玉野競輪場を「チャリロトバンク玉野」、令和7年度から玉野市民総合運動公園庭球場を「roche（ローチェ）テニスパーク」とするネーミングライツを導入しており、今回で4施設目になります。

引き続きこれらの施設の愛称が広く定着し、施設がより一層愛される存在となるよう周知に努めるとともに、さらなる導入可能性を模索し、ニーズの把握に取り組んで参ります。

次に、空家等管理活用支援法人についてであります。

本市においても、空き家対策のために空き家バンクや改修費補助、家財等処分費補助などの施策を実施しているところですが、この度、4月1日付で「一般社団法人岡山住まいと暮らしの相談センター」と「株式会社 AlbaLink（アルバリンク）」の2社に対し、空家等管理活用支援法人制度に基づく指定をいたしました。

この制度は、市が指定した民間法人が、空き家の取引や相談対応、所有者と活用希望者とのマッチングを行うなど、民間法人のノウハウを活用して空き家の流通・活用の促進を図ることを目的としたものです。

今後は、これまでの施策に加えて、官民連携により、空き家の管理、活用に対する対応を強化して参ります。

次に、クルーズ客船と宇野港についてであります。

4月15日、バハマ船籍のクルーズ客船「アイランド・スカイ」が宇野港へ初入港いたしました。

当日は、宇野港航路誘致推進協議会として歓迎式典を執り行い、船長並びに乗務員の皆様へ花束や記念品を贈呈いたしました。

本年の寄港予定は、今回の「アイランド・スカイ」を含め、延べ20隻となっており、昨年と比較して6隻の増加が見込まれております。

宇野港エリアは「瀬戸内国際芸術祭」を契機として、芸術祭の開催時期を問わず、多くの外国人観光客に訪れていただいております。

この好機を逃すことなく、宇野港という本市の貴重な観光資源を有効に活用し、国内外問わず多くの方に選ばれ、訪れていただけるよう、より一層のシティプロモーションを推進して参ります。

また、瀬戸内海の島々へのゲートウェイを担う「新生宇野港」の実現に向けましては、国主導のもと、有識者や関係団体、企業、そして、行政機関で組織する検討会において、「宇野港宇野地区中長期ビジョン」を4月に策定いたしました。

今後は、目的地として選ばれ、賑わう港を目指し、港湾管理者である岡山県と緊密に連携を図りながら、港湾の機能強化をはじめ、拠点形成や観光コンテンツの充実など、重層的な取組を力強く進めて参りたいと考えております。

次に、深山公園についてであります。

深山公園開園50周年、道の駅みやま公園開設30周年を記念して、4月26日にオープニングイベントが開催されました。

当日は、保育園児による鼓隊演奏をはじめ、スタンプラリーや抽選会など、周年事業の開始を彩る様々な催しが行われました。

また、5月31日には、英国の園芸鉢工房である「Whichford Pottery（ウィッチフォードポタリー）」の職人と備前焼作家が来園され、レクチャーを受けながら備前焼のWhichfordスタイルオリジナルフラワーポットを作成するワークショップが開催されました。

今年はこの他にも、民間提案による記念イベントが企画されており、さらに年度後半に向けて募集を行っているところです。

深山公園は1976年（昭和51年）に開園し、道の駅みやま公園は1996年（平成8年）に開設され、長きにわたり市内外問わず、多くの方に愛されてきました。

深山公園並びに道の駅みやま公園の発展にお力添えをいただいた関係者の皆様をはじめ、ご来訪いただいたすべての皆様に心から感謝申し上げますとともに、将来にわたり本市を代表する名所の一つであり続ける

よう、本市として魅力向上に努め、愛着と誇りの醸成や地域の活性化を図って参ります。

次に、Setouchi Contemporary（セトウチコンテンポラリー）についてであります。

５月２８日に、岡山市のイシカワホールディングスにて、「Setouchi Contemporary2026」の記者会見が行われました。

本イベントは、セトウチコンテンポラリー実行委員会が主催する音楽・自然・文化が融合する野外複合型イベントであり、昨年１１月に宇野港で初開催された際は、国内外のアーティストによる音楽ステージを中心に、飲食やファッションブースなども展開され、２日間で約３万６千人もの来場者で賑わいました。

今年も宇野港にて１０月２４日、２５日の２日間の開催が予定されており、昨年は１日のみであった音楽フェスが、今年は２日間とも開催に拡大されると伺っております。

本市といたしましても、市外から多くの誘客が見込まれる本イベントの機会を最大限に活かし、来訪者に玉野市の良さを体感していただくことで、「来て、見て、住みたい、にぎわいあふれるまち」の実現を目指し、シティプロモーション及び観光振興に積極的に取り組んで参ります。

次に、玉野市史Ⅱについてであります。

現在、昭和４５年に刊行された「玉野市史」の続編を編纂するプロジェクトが進行しております。

今年度は６月以降、３回にわたり編纂委員会を開催し、内容の精査や校正作業などを進めることとしており、９月までには全ての編纂作業を完了させ、１０月の刊行を予定しております。

新たな玉野市史が、本市の歴史を後世に伝えるとともに、市民の郷土愛を育くみ、未来を切り拓く礎となることを期待しております。

次に、新庁舎整備についてであります。

建設工事につきましては、皆様の御理解と御協力のおかげをもちまして、順調に進捗しております。

御承知のとおり、既に庁舎の外装を覆っておりました仮囲いも取り外され、大きな船をイメージした外観が姿を現しております。

内装工事につきましても、5月末をもってほぼ完了いたしました。

現在は6月末の竣工に向け、外構工事や最終的な各種検査を行っているところでございます。

竣工後は、付帯工事や移転準備等の作業へと段階を移し、9月の供用開始に向け、万全を期して参ります。

市民の皆様にとって利便性が高く、親しまれる庁舎となりますよう完成まで気を引き締め、引き続き取り組んで参る所存です。

最後に、市民センターの機能見直しについてであります。

私が公約の一つとして掲げた「市民センターの機能見直し」の具体化として実施しております証明書の巡回交付業務につきましては、利用状況やマイナンバーカードの普及率などを考慮し、廃止する方向で検討を進めておりますが、マイナンバーカードを持たない方への配慮や、本市の地理的特徴を踏まえ、一部の市民センターには証明書発行機能を残したいと考えております。

また、今後の地域の在り方に関することとして、市民センターの機能のうち、地域活動の拠点としての機能・役割について、現在、今後の具体的な方向性や内容の検討を進めているところであり、一定程度まとまった段階で、証明書発行機能を残すセンターの案と合わせ、市民センター機能の今後の在り方として案をお示ししたいと考えております。

以上、行政報告をさせていただきましたが、本日から開会されます6月定例市議会においては、報告事項11件、予算議案1件、条例議案3件、その他議案2件の合わせて17件を提案しております。

この後、報告事項及び各議案についての御説明をさせていただきますが、議員各位におかれましては、本会議及び常任委員会において御審議を賜りますようお願いを申し上げます。